

# Bicycle Parking

業界唯一の  
自転車駐車場専門情報誌

SPRING  
2026

季刊バイシクルパーキング  
2026年3月発行  
第23号

no.23

発行：一般社団法人 自転車駐車場工業会  
〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-2 べんてるビル7F  
TEL.03-3663-6284 FAX.03-3667-9637  
http://www.jichuko.net

編集：有限会社 サン・ネット  
〒162-0808 東京都新宿区天神町22-3 ルート神楽坂ビル5F  
TEL：03-3269-6696 FAX：03-3269-6697  
http://www.sun-net.cc

自転車活用推進法に基づき国が策定する自転車活用推進計画の次期（第3次）計画の発出がいよいよ近づき、また、この4月には自転車を対象とした交通反則通告制度がスタートするなど、自転車を取り巻く環境が大きく変わろうとしている。これらの変化に、自転車駐車場はどのように対応していくべきだろうか。昨年公表された「自転車等駐車場の整備のあり方に関するガイドライン（第3版）」に関連する取り組みを中心に、国土交通省都市局 筒井祐治街路交通施設課長に話を聞いた。

## 1. 自転車等駐車場の現状

### (3) 放置自転車等の現状

#### ① 全国の推移

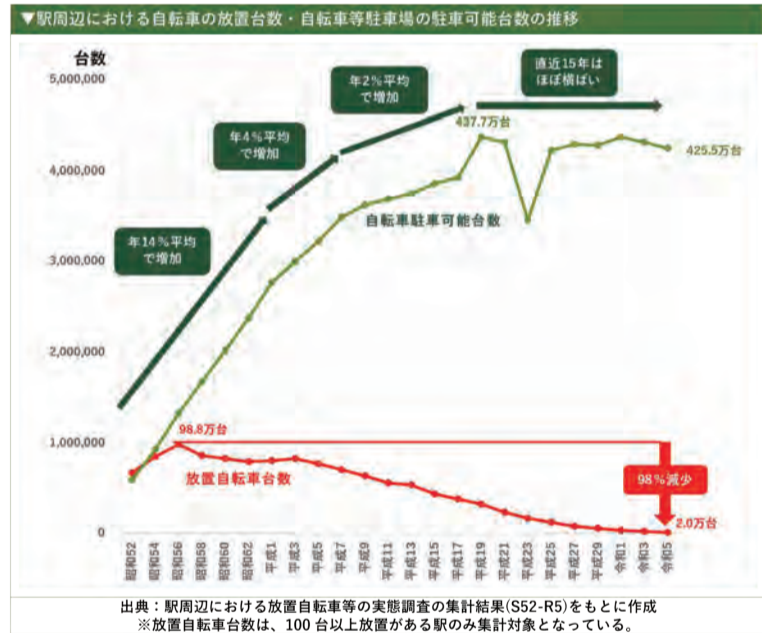
放置自転車等が社会問題化していた昭和50年代において、ピークの昭和56年には日本全国で約98.8万台の放置自転車等が存在していた。

その後、自転車法の制定により、自転車等駐車場の整備や放置自転車等の撤去等の取組が進み、放置自転車の台数は年々減少を続け、令和5年には約2.0万台とピーク時から98%減少している。

自転車駐車可能台数は、平成19年に437.7万台となって以降、ほぼ横ばいで推移しており、直近15年間は総供給量（自転車等駐車場可能台数）が増えることなく、放置自転車が減少している。

その要因として、道路上の自転車駐車場の整備（平成17年）や民間事業者による運営が可能（平成18年）となったことで、自転車等駐車場の小規模分散型配置など適切な配置が進んだことや指定管理者制度などによる民間事業者の参入による効率的な運営などが進んだことが考えられる。

しかし、依然として一部の駅周辺や中心市街地には放置自転車等が存在しており、歩行者や自転車の通行の妨げとなっている。



「自転車等駐車場の整備のあり方に関するガイドライン（第3版）」より抜粋  
<https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001880113.pdf>

筒井 前回の「第2版」が策定された平成28年当時は、立地適正化計画を作成している都市はまだわずかという状況でしたが、現在はかなり標準的になってきました（令和7年12月31日時点で947都市が具体的な取組を行い、うち650都市が計画を作成・公表）。また、「ウォール」の取り組み等により、まちなかを単なる交通空間としてではなく、人中心の空間に変えていこうという動きが出てきました。このような変化を踏まえ、自転車駐車場のあり方を見直そうとガイドラインの改定に取り組みました。周辺環境だけでなく自転車そのものも、タイヤの太い仕様や子乗せ3人乗りの電動アシスト自転車普及するなど変化していますので、それらへの対応についても盛り込んでいます。



自転車駐車場が受け入れる「原付バイク」も変化。車体サイズに問題がなければ125ccであっても「新基準原付」は従来の「原付バイク」置き場が利用できる。（資料写真・以下同）

筒井 自治体が設置する自転車駐車場も、やはり料金施策なしではうまく運ばない（2面に続く）

筒井 ご指摘のとおり、駅周辺の放置自転車台数はピークの9割減ぐらいになっています。ただ、最近の傾向として

筒井 もちろん、駅前の自転車駐車場

筒井 前回の「第2版」が策定された平成28年当時は、立地適正化計画を作成している都市はまだわずかという状況でしたが、現在はかなり標準的になってきました（令和7年12月31日時点で947都市が具体的な取組を行い、うち650都市が計画を作成・公表）。また、「ウォール」の取り組み等により、まちなかを単なる交通空間としてではなく、人中心の空間に変えていこうという動きが出てきました。このような変化を踏まえ、自転車駐車場のあり方を見直そうとガイドラインの改定に取り組みました。周辺環境だけでなく自転車そのものも、タイヤの太い仕様や子乗せ3人乗りの電動アシスト自転車普及するなど変化していますので、それらへの対応についても盛り込んでいます。

筒井 「第3版」では「弾力的な料金設定」についても触れられています。

# 自転車を取り巻く環境が大きく変わる今、自転車駐車場が取り組むべきことは

国土交通省都市局 筒井祐治 街路交通施設課長に聞く

「第3次自転車活用推進計画」目前、「青切符」スタート……



国土交通省都市局 街路交通施設課長 筒井 祐治 氏

2.3 自転車等駐輪場施設 2.3.4 自転車等駐輪場の計画的な更新・維持管理方針 ②

(1) 自転車等駐輪場の計画的な建て替え・修繕・機能更新

自転車等駐輪場の安全性、利便性、快適性等を向上し、より長期的に質の高いサービスを提供するとともに、自転車等駐輪場の維持管理コストの削減を図るためには、老朽化した公共自転車等駐輪場の計画的な建て替え・修繕・機能更新が必要である。

建て替え等においては、他の施設と一体的な整備やPFI事業等による民間資金等の活用等により財政負担の軽減を図る等、計画的、効率的な取組が必要である。

▼民間資金を活用した自転車等駐輪場の再整備(箕面市)

・箕面市では、PFI法に基づく事業として、箕面駅前第一駐輪場と箕面自転車等駐輪場を一体的に建て替え、地域活性化施設も合わせた複合施設として整備している。

[事業方式]

・BTO方式  
(設計+撤去+建設+維持管理運営)

[対象施設]

・駐輪場、駐輪場、地域活性化施設の複合施設  
※駐輪場：864台(原動機付自転車含む)  
※駐輪場：普通車285台  
二輪車27台

※地域活性化施設とは、飲食の提供やその他物販販売など、回遊性を創出し、地域の活性化に資する施設

出典：箕面市報告資料(箕面市立箕面駅前駐輪場・駐輪場等再整備運営事業)



▼自転車等駐輪場の建て替えを伴う機能更新(小金井市)

・老朽化した駐輪場の建て替えにあたり、定期更新機や搬送コンベアの導入など機能向上を図り、利便性や快適性を向上させた自転車等駐輪場の整備を行っている。

[従前]



[建て替え後]



・構造・規模：鉄骨造2階建て  
・建築面積：550.3㎡  
・延床面積：624.0㎡  
・収容台数：629台(自転車)  
・その他設備：無し

・構造・規模：鉄骨造4階建て  
・建築面積：550.3㎡  
・延床面積：1,259.3㎡  
・収容台数：938台(自転車)  
・その他設備：定期更新機・搬送コンベア・防犯カメラ・ラック

出典：(公財)自転車駐輪場整備センター



当工業会では、変化する自転車に対応すると同時に、災害への耐性を高めるためサイクルラック技術基準を改定。時代の変化に対応している。

営できないケースもあります。利用率の低いところは料金を低くし、あるいはその逆に利用率の高いところは料金を高くすることで、利用の平準化を図ると

いった取り組みも地域の状況によっては必要だと考えています。

我々自転車駐輪場工業会では、料金体系のあり方の見直しを喫緊の課題と考えていますので、非常に重要なご指摘です。それともう一つ、我々が注目している点が「自転車駐輪場のDX」について言及されていることです。当工業会としても、利用者の利便性向上や人手不足への対応などのため、DXの推進が不可欠だと考えています。

**筒井** 特に公共の施設は追加投資が難しい面もあり、今なおDX化が図られていない有人施設も少なくない状況と認識しております。とはいえ、将来的には人材不足に陥ることも明らかです。利用者目線で見ても、管理する側の目線で予算の都合等もあるので今すぐ実

行は難しいとしても、少なくとも検討だけでも進めておくべきでしょう。

将来的な自転車駐輪場のあり方を考えたとき、施設や機器の老朽化対策、機能更新も大きな課題です。

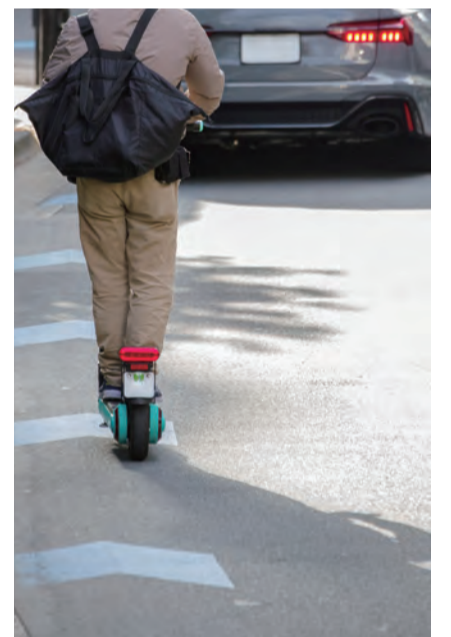
**筒井** 今後の利用状況を考えたとき、例えば公共の自転車駐輪場であれば、利用が減った場合は他の用途への転換や統廃合が必要になるかもしれません。自転車駐輪場はまちの基幹施設であるため、長寿命化のための取り組みを計画的に進めていくことが求められます。建物はもちろんですが、サイクルラックについても、老朽化対策はもとより、先に触れたように自転車自体が変

化していますので、その対応という意味でも、適切な検討が必要だと思います。(2)

車体に関していうと、電動キックボードに象徴される特定小型原動機自転車が登場し、今後はさらにそのバリエーションが広がります。

**筒井** そうですね。電動キックボードも市民権を得ていると思いますし、モビリティの多様化は今後も進む可能性がある

## 多様なモビリティの登場、DXの推進……自転車駐輪場が担う役割に変化



電動キックボードを始め、多様化するパーソナルモビリティへの対応も重要だ。

と思います。そのような多様化したモビリティを自転車駐輪場が受け入れられるような状況をつくることも重要です。電動キックボードがそうであるように、それらのモビリティはシェアリング用途としても広まっていくとした場合、そのポートとして自転車駐輪場のスペースを活用することも考えられるのではないのでしょうか。

今もすでに、自転車駐輪場の敷地内にシェアサイクルのポートを設けている事例がかなりありますので、多様なシェアモビリティへの対応ももちろん可能だと考えています。

**筒井** そうであれば、自転車駐輪場が「モビリティハブ」のような役割を担っていくことが十分考えられます。このような観点から自治体は地域のシェアサイクルを——現状は民間事業者任せか、ポート用地としての公有地の無償または安価での貸与程度に留まる事例が多いのですが——しっかりと交通政策・まちづくりの仲間として組み込んでいく必要があると思います。

## 駐輪場リニューアルご検討者様

収容台数 使いやすさ 向上!

リニューアルを検討中の方へ



機能性を大幅に高めた最新のサイクルラックで、より安全で快適な駐輪場へのご提案します



Before

After

### トッキーライン 駐輪場等に最適! ゴム製区画線

- 施工から使用開始まで5時間程度
- 多彩なカラーバリエーション
- 現場施工なので寸法は自由自在
- 指定寸法での製品販売も可
- 車両の速度抑制帯にも使用可
- ゴム製なので安全です

### 木製駐輪ラック

- 部品点数5点のみの簡単組立
- 防腐剤・ニス塗装済み
- 本体色は2種(クリア/ウォルナット)から選択可
- 底面にゴム足付き

自然環境や景観に配慮!



日本サンサイクル株式会社

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-7-9 (オンラインビル)  
TEL: 03-3639-4911 (代) FAX: 03-3639-4913 URL: http://www.sancycle.co.jp

筒井 自転車の魅力のひとつは気軽に乗れることだと思います。実は今、特に若い世代の休日の外出率が非常に下がっているという問題があります。全世代で下がっているのですが、特に若者が外に出なくなっています。リアル空間が元気を失ってしまう状況です。で、より多くの人に、まちなに出ていただける取り組みを進めていかなければなりません。この点でも自転車は非常に有効なツールだと思いますので、走行空間、駐輪場所、いずれも充実させていく必要があると思っています。

**若者の外出率が低下  
自転車がカギを握る**  
——第3次自転車活用推進計画の策定が大詰めを迎え、また、この4月からは自転車に対する交通反則通告制度（青切符）がスタートするなど、大きな変化を迎えます。



現時点でも、自転車駐車場の敷地内にシェアサイクルポートを設置している事例は多い。

### 「コミュニティサイクル」の導入に奮闘

筒井 課長と自転車との関わりについて、エピソードはありますか？

筒井 思い出すのは岡山市に赴任していた当時のことです。2011年頃のことなのですが、自転車先進都市を目指すという、「自転車先進都市おかやま実行戦略」の策定に携わりました。自転車の走行空間や駐輪スペースの整備などを包括的にまとめた、今という「地方版自転車活用推進計画」ですね。

——自転車活用推進法が制定される前ですね。かなりご苦労もあつたのでは？

筒井 当時、実証実験としてシェアサイクル——当時はコミュニティサイクルと呼ばれていましたが——の導入に取り組んだのですが、まだ日本では定着する前のことだったので、ドイツで普及していたシステム・車体を採用することにしたんです。しかしながら、日本人にとってその車体は大きくて重い扱いづらい、思うようには利用が進みませんでした。議会に呼ばれて反省点を述べたりして……。その他にも自転車をいかにして歩道ではなく車道を走らせるかなど、いろいろ取り組みましたね。

——そういった「実証」を重ねたからこそ今のシェアサイクルの普及・定着に繋がっているのだと思います。

筒井 確かに、岡山市では

## 「横浜グリーンエキスポ」 来年3月に開催

国際博覧会として最上位であるA1クラスに位置づけられている「横浜グリーンエキスポ」の開催がいよいよ1年後に迫っている。「幸せを創る明日の風景」をテーマに掲げ、地球課題の解決にチャレンジし、自然資本をベースとした新たなグリーン社会の姿を世界に発信する。ちなみに1都3県で最上位クラスの国際博覧会の開催は初めてのことであり、その点でも注目が集まっている。



公式マスコットキャラクター「トウキントウキ」

©Expo 2027

- 【正式名称】 2027年国際園芸博覧会  
(International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
- 【開催場所】 旧上瀬谷通信施設 (神奈川県横浜市)
- 【開催期間】 2027年3月19日(金)～2027年9月26日(日)

### 来年3月開催 「横浜グリーンエキスポ」

——では最後に、2027年3月に横浜で開催される「横浜グリーンエキスポ」についてお伺いします。

筒井 国土交通省は主管省庁として同

当時の実証実験を踏まえた、次のシェアサイクルの車両選定はスムーズだったようですね……(笑)。

博覧会に携わっており、都市局街路交通施設課では園芸博覧会と連携し、来場者の利便性と地域の生活環境の双方に配慮した、バランスの取れた輸送アクセス体系の構築にむけ、全力で取り組んでいます。来場手段の一つである自転車についても、そのポテンシャルを最大限生かすことができるように検討を深化しているところです。

66

# SANICA

## サニカのモーターロック機構は 静粛性と耐久性に優れ 長期の運用に最適です。

### 軽い力でスムーズに入出庫

# CL600



- ・課金状態を確認しやすいロックアーム
- ・モーターロックでいたずら防止と静粛性の高い動作を実現
- ・駐輪機の課金状態を表示するLEDを搭載



- ・前輪を入れやすい幅広形状の開閉口と視認性を高めたカバー
- ・スロープ角が緩く押し入れしやすい



**SNC** 株式会社 **サニカ**

営業本部  
TEL : 055-284-2411  
FAX : 055-284-2494

東京支店  
TEL : 03-3526-6344  
FAX : 03-3252-7622

大阪支店  
TEL : 06-6536-3530  
FAX : 06-6536-3535

福岡営業所  
TEL : 0942-65-3115  
FAX : 0942-65-3321

サニカ公式サイト <https://www.sanica.co.jp>  
商品の詳細は公式サイトからご覧いただけます。



スイングラック EF-1ZML型



前輪式ラック Z-2ML型

一般社団法人自転車駐車場工業会の取り組み

〔改定版〕サイクルラック技術基準

株式会社リード、

個別ロック式サイクルラックとして業界初の「強度区分Ⅳ」を取得

当工業会が2023年に改定したサイクルラック技術基準では、設置場所（屋内外・階層）と耐地震力・耐風圧力の組み合わせで4段階の「強度区分」を設けています。この3月、業界で初めて「個別ロック式サイクルラック」で「強度区分Ⅳ」を達成した認定品が登場しました。認定を取得した株式会社リード担当者からコメントが届きました。

認定を取得した製品について

個別ロック式サイクルラック「スイングラック EF-1ZML型」および「前輪式ラック Z-2ML型」の2製品において、同時に「強度区分Ⅳ」認定を取得しました。「EF-1ZML型」は最小ピッチ300mmから設置でき、限られたスペースでも要求台数に応じた柔軟なレイアウトが可能で、「Z-2ML型」は大型自転車の収容を前提にした堅牢な設計で、いずれも動作時の静粛性と遠隔操作の拡張性を備えるモーター駆動式ロックヘッドを搭載しています。この2機種を組み合わせることで、「大型車は前輪式へ誘導する」といった、現場ごとの最適な運用形態を提案できます。

個別ロック式ラックとして業界で初めて「強度区分Ⅳ」を達成

お客様の安全性・信頼性に対する要求の高まりを受け、より厳格な基準への適合が不可欠であると判断し、改定されたサイクルラック技術基準の、最も厳しい「強度区分Ⅳ」の取得に取り組むこととしました。

技術基準および認定制度について

サイクルラック技術基準及び認定制度は、製品の安全性と利便性を一定水準以上に保つための重要な指標であり、業界全体の品質の底上げに寄与するものと認識しています。お客様にとって「安心」の根拠となる明確な評価軸として、非常に有効な制度だと考えています。

認定取得品の設計にあたって

設計の根本に認定取得のための大きな変更はしていません。これは設計段階よ

これから自転車でも、人にも、環境にも、やさしい街づくり。

豊富なバリエーションと確かな品質で、あらゆる駐輪ニーズに応えます。

上段にもかかる収納  
2段式サイクルラック

軽くてラクラク  
スライド式サイクルラック

耐久性抜群  
サイクルルーフ

上階へも気軽に移動  
サイクルスロープ

省スペースに最適  
前輪式サイクルラック

収納台数がUP  
スイング式サイクルラック



株式会社 リード  
一般社団法人 自転車駐車場工業会会員

お見積・レイアウトは、  
おまかせください。

商品の詳しい情報はホームページをご覧ください。図面データのダウンロードサービスも実施中です。  
<http://www.lead.co.jp/churin/>

本社  
〒360-0203 埼玉県熊谷市弥藤吾578  
TEL.048-588-1121(代)

LB事業部電子営業課  
〒360-0802 埼玉県熊谷市下奈良1816-2  
TEL.048-529-2727(代)

LB事業部駐輪営業課 ※お問合せは駐輪営業課まで  
〒110-0015 東京都台東区東上野3-15-12 エムプレイス東上野10F  
TEL.03-5834-3901 FAX.03-5834-3902



り多様な自転車への対応を想定し、評価・検証を繰り返しながら最終仕様を練り上げてきた成果だと自負しています。

**製品開発にあたり、とくに注力、工夫した点について**

「スイングラック E F ー I Z M L 型」は高い収容効率を維持しつつ、乗り口部の高さを最大限抑えるなど、操作性と安全性の両立に注力しました。現場の声やお客様のご意見を積極的に設計へ反映し、試行錯誤を重ねた結果、安定した性能を確立することができました。

**業界初の「個別ロック式サイクルラック技術基準・強度区分Ⅳ」認定について**

——— 自転車駐車場工業会 技術委員会

今回のサイクルラック技術審査において、個別ロック式サイクルラックとして初めて「強度区分Ⅳ」の製品が誕生しました。収容効率を高めた「スイング式」と、使い勝手に優れた堅牢な「前輪式」という、タイプの異なる2機種が新技術基準認定品「強度区分Ⅳ」に加わることとなり、すでに認定を取得済みのサイクルラックとあわせて、機器選定の選択肢がより一層広がることとなり、当工業会としても大きな手応えを感じているところです。

2026年度は引き続き、新基準に基づく認定制度への申請及び審査が行われる予定となっております。なお、旧基準で認定を取得した製品に対する新基準への移行を推進しているところであり、これにより新基準認定品のバリエーションがさらに増えていくものと期待しています。



2026年1月29日に実施された技術審査委員会による現地審査の様子。

**「強度区分Ⅳ」を達成して、今後の取り組みは**

関係各所のご協力のもと、「強度区分Ⅳ」を取得できたことは大きな成果です。しかしながら、利用環境やユーザーニーズは常に変化し続けるものですので、今後も継続的な品質改善に努めていく所存です。今後は本製品の導入実績を積み重ね、実際の運用データに基づいた改良・最適化を進めてまいります。また、既存製品についても順次見直しを行い、市場動向や制度の改正に合わせて基準適合への対応を検討しています。今後も「安全・安心・快適」な駐輪環境の提供を目指し、全社を挙げて製品品質の向上に取り組みまいります。

**DATA**

株式会社リード：<https://www.lead.co.jp/>

一般社団法人 自転車駐車場工業会：<http://jichuko.net/>

**垂直2段式サイクルラック**

**ARS・AFS・GCR・ATG・SRC・SRC-H series**

**国内初!**

「ARS20」「ATG」「SRC」「SRC-H」が、  
一社 自転車駐車場工業会が定める技術基準の最高ランク  
**「レベルⅣ」の認定を、国内で初めて取得しました!**

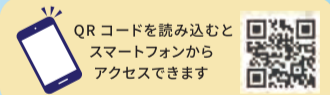
- ▶ARS型 (水平上下限定式垂直上段ラック)
- ▶AFS型 (自動折りたたみ式垂直上段ラック)
- ▶ATG型 (スライドラック)
- ▶SRC型 (前輪カート式スライドラック)
- ▶SRC-H型 (前輪カート式傾斜スライドラック)
- ▶GCR型 (電動フルオート式垂直上段ラック)



おかげさまで創業16年  
垂直2段式サイクルラック一筋の専門メーカー  
**OSS**  
Operation & Space Solutions

**株式会社OSS**

〒485-0814 愛知県小牧市古雅 4-58-2  
TEL 0568(54)3808 FAX 0568(54)-3812 URL <https://www.os-solutions.co.jp/>



<http://www.daizo.co.jp>



人と暮らしと自転車・バイクと  
新しいスタイルで 新しい環境整備へ



**DAIZO**

本社 〒552-0013 大阪市港区福崎3丁目1番201号  
TEL 06-6577-2503 FAX 06-6577-2520

東京事務所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-4-13 VPO東日本橋ビル6階  
TEL 03-5614-5106 FAX 03-3660-4500

# 公益財団法人 自転車駐車場整備センターの取り組み

社会問題化していた放置自転車対策のため、各地で大規模な自転車駐車場が建設されたが、それらの中にはオープンから40年以上が経過した施設も多い。運営のためには適切な修繕計画が不可欠といえるが、ここではその最新事例を取り上げたい。

## 開設から長期間経過した自転車駐車場の大規模な修繕 最新事例レポート

### 町田駅森野第1自転車駐車場(東京都町田市)

人の移動を支え、また、放置自転車抑制によるまちの美観機能維持に貢献する自転車駐車場は地域にとって重要な施設だ。しかしながら、放置自転車対策の初期である1980年前後に整備された自転車駐車場は、供用開始から40年以上が経過することとなり、建屋や設備の老朽化対策や自転車本体の変化に応じた機能更新など、施設の長期維持のために適切な改修が求められる状況となっている。国土交通省都市局街路交通施設課が昨年3月に公表した「自転車等駐車場の整備のあり方に関するガイドライン(第3版)」においても、「自転車等駐



Before



After

車場の安全性、利便性、快適性等を向上し、より長期的に質の高いサービスを提供するとともに、自転車等駐車場の維持管理コストの縮減を図るためには、老朽化した公共自転車等駐車場等の計画的な建て替え・修繕・機能更新が必要であると示されている。

今回は、その最新事例である「町田駅森野第1自転車駐車場」(東京都町田市)に注目した。4層の建屋に2000台近くを収容する大規模施設で、供用開始は1984年3月。管理運営を行う公益財団法人自転車駐車場整備センターでは、これまでも適時必要な改修を行ってきたが、同施設が開業から40年を超えていることから、建て替えを含めた老朽化対策を検討、周辺地域の都市整備計画等も鑑みながら、最終的には建て替えではなく、既存施設の修繕によるさらなる維持が最適と判断し、修繕計画を策定、実行した。具体的には錆等による劣化が目立つ

ある「町田駅森野第1自転車駐車場」(東京都町田市)に注目した。



Before



After

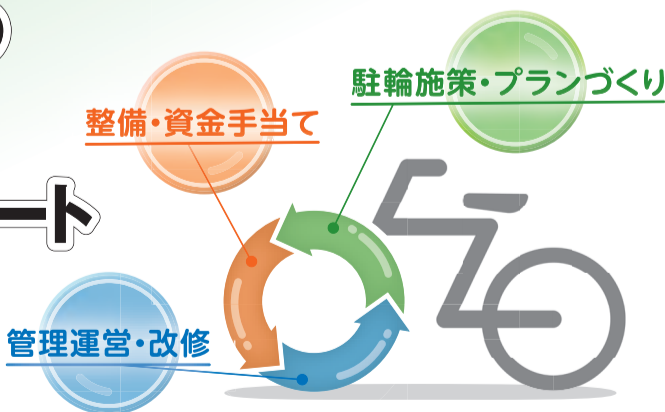


After



Before

## 自治体駐輪場の「サイクル」をトータルにサポート



管理コストをおさえた駐輪場の改良など何でもご相談ください

### 公益財団法人 自転車駐車場整備センター

Email : info.gyoumu1@jitensha.jp URL : https://www.jitensha.jp/

本 部 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町4-6-7 日本橋日銀通りビル4階  
電話 03-6262-5320(代表) FAX 03-6262-5330

大阪事務所 電話 06-6449-0991(代表) FAX 06-6449-0994  
名古屋事務所 電話 052-586-6841(代表) FAX 052-586-6855

#### (サイプス) CYPS 導入拡大しています!

- 定期利用の Web による申込・決済
- 現場の駐輪場でシール自動発券
- 秘匿性の高い安全な個人情報の取扱い(実用新案登録第3239374号)
- 郵送による紙申込も可能(Webが使えない人にもやさしく)
- 市内外の料金差や細かな減免にも対応可

#### ハード・ソフト併せた駐輪課題対策

- 施設の老朽化対策
- 管理費用の低減
- 複数駐輪場間の利用の平準化、混雑する駐輪場の利用環境の向上
- 人件費上昇や求人難に応じた最適な機械化・省人化



Before

After







**駐輪場・駐車場のコールセンター  
24時間、365日サポート**



電話対応

遠隔監視

緊急出動

**モーリスコーポレーション株式会社** <http://www.morris-corp.co.jp>

東京本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9 小網町安田ビル3F  
 <支店> 大阪、名古屋、福岡、金沢  
 問い合わせ先 TEL 03-3663-5455 (代) FAX 03-3663-5466 E-mail info@morris-corp.co.jp



**機械式駐車場・駐輪場  
メンテナンスのリリーフエース**



日本全国・年中無休

合理的・手頃な価格

どんなメーカーや機種・大小でもOK

遠隔監視システムで対応

**日本駐車場救急サービス株式会社** <https://www.jafs99.co.jp>

東京本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9 小網町安田ビル3F TEL 03-3663-1755 (代) FAX 03-3663-1750  
 <支店> 大阪・名古屋・福岡・金沢・大宮



**駐輪場・駐車場・シェアサイクル  
管理運営のリーディングカンパニー**



**駐輪場事業**

時代のニーズに対応した  
管理システム

**シェアサイクル事業**

従来の駐輪場との  
ハイブリッドな管理運営

**駐車場事業**

都市に美しく調和した  
利用しやすい駐車場

**企画・提案事業**

21世紀型の事業運営を  
提案・支援

**出版事業**

わが国唯一の  
駐輪場・駐車場専門月刊誌  
「自転車・バイク・自動車駐車場  
パーキングプレス」

**サイカパーキング株式会社** <https://www.cyca.co.jp>

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-2 べんてるビル7F  
 東日本営業本部 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-2 べんてるビル7F TEL: 03-3667-9635 FAX: 03-3667-9637  
 西日本営業本部 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-1-7 日販堂島ビル8F TEL: 06-6344-4021 FAX: 06-6344-4023  
 <支店> 大阪、名古屋、福岡、岡山、川口、多摩  
 <グループ会社> 横浜サイカパーキング株式会社 川口サイカパーキング株式会社 大阪サイカパーキング株式会社 福岡サイカパーキング株式会社